

1月24日に、本年度2回目の環境行政懇談会を横浜市で開催し、横浜スマートプロジェクトの進捗、みどりアップ計画などに関する意見交換をおこなった。

横浜スマートプロジェクトについて

① 家庭におけるHEMSによる省エネ行動実験については、今年度の目標1,500世帯に対し、882世帯しか参加して戴けておらず大幅な未達になっている。この実験に参加いただければHEMS設置費用の個人負担は僅かとなるため、会員の積極的な参加を要望された。

② ビル・商業施設におけるBEMSによるデマンドレスポンス実証実験は、本年1月8日～2月22日までの最高気温8℃以下の日に、17～20時までの時間帯のピークカットを最大20%実施するもので、ランドマークタワーや横浜ワールドポーターなど6つのビルが参加して実験中。これまでの6回の実験では約17%のカットが実現している。

③ 太陽光発電の設置は、目標27,000kWに対し31,000kWと目標を達成済み。



挨拶する弟子丸委員長

みどりアップ計画について

横浜市の緑被率は2009年には29.8%まで減少した。そこで「横浜みどり税」を新設し2013年までの5年間に約24億円の税収を見込んで、①林地・農地の公有地化等による保全、②緑化の推進などを図っている。企業の敷地内の緑化についても、地域住民へ解放するなどの条件を整えば補助の対象になるので積極的に活用するよう要望された。
(文責事務局)